

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次） 令和3年度年次報告

課題番号MFRI01

富士山の事象系統樹を精緻化するための噴火履歴の研究

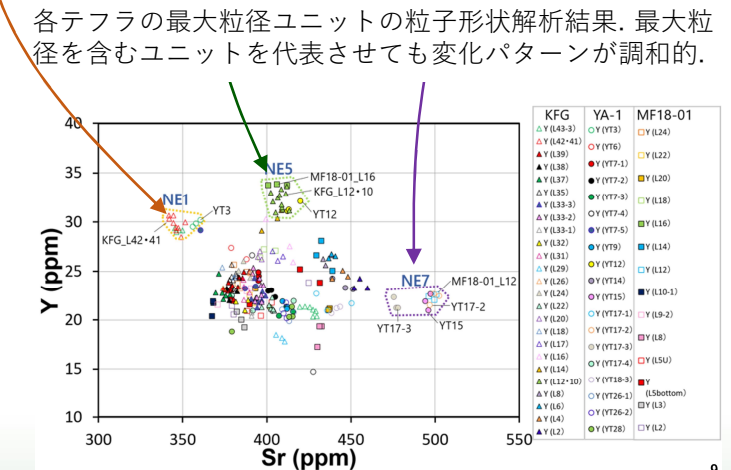
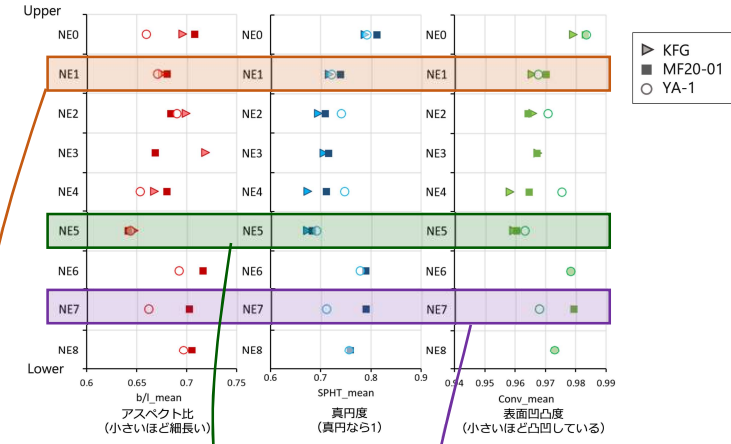
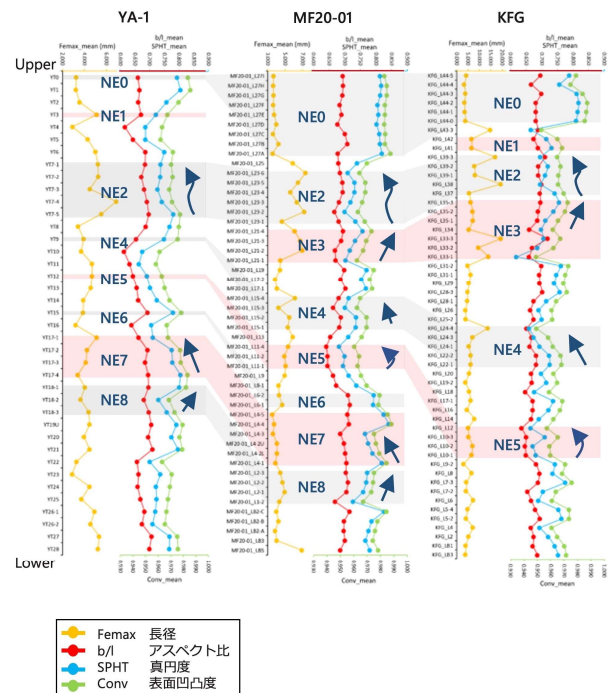
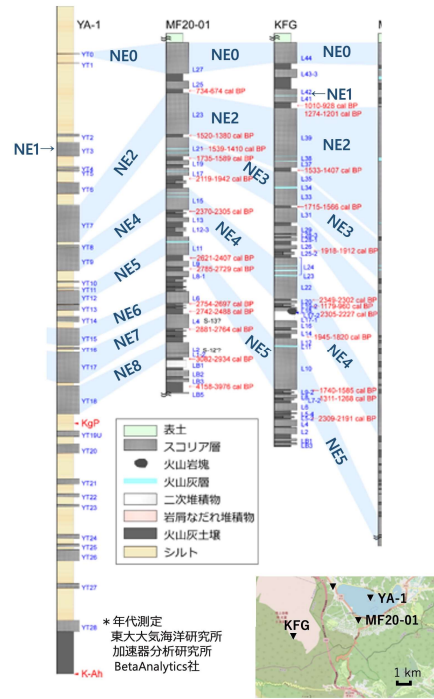
課題番号MFRI02

火山モニタリングと地下水流動把握のための多点連続重力観測

山梨県富士山科学研究所
富士山火山防災研究センター

MFRI01 富士山の事象系統樹を精緻化するための噴火履歴の研究

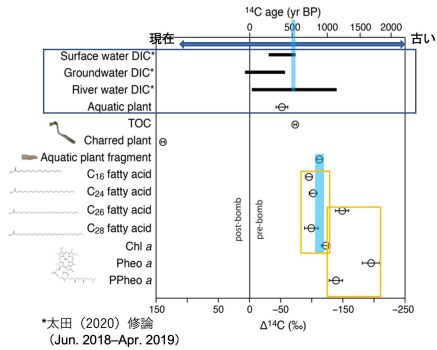
①テフラ層序の再考による富士山の噴火履歴の高精度化



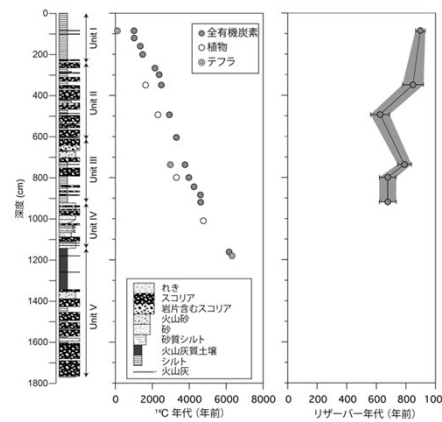
富士山のテフラに定量的データによる対比方法を検討した結果、化学組成と粒子形状と組み合わせることにより、ある程度対比が可能である。

MFRI01 富士山の事象系統樹を精緻化するための噴火履歴の研究

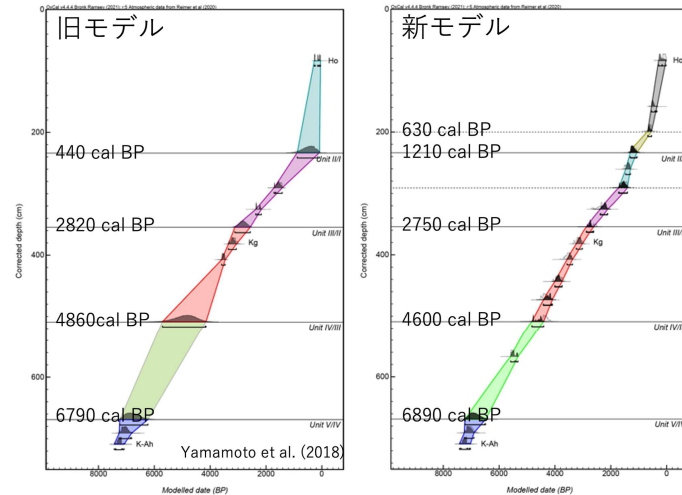
①湖底堆積物を使ったテフラ層序の高精度化 (山本ほか, 準備中)



山中湖表層堆積物中の $\Delta^{14}\text{C}$ の分布。全有機炭素 (TOC) の ^{14}C 年代をリザーバー年代 (大気-湖水間の ^{14}C 年代の差) で補正することにより年代測定が可能

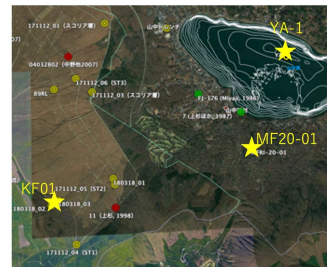
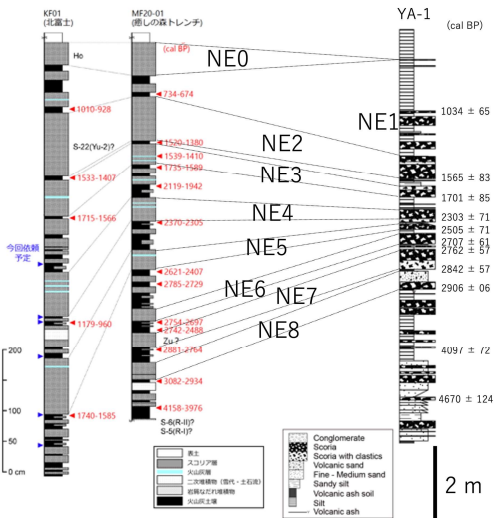


山中湖の堆積物コアの ^{14}C 年代測定結果とリザーバー年代の層序学的変化



堆積物コアのTOCとリザーバー年代によって改定した山中湖の年代-深度モデル

陸上堆積物 コア堆積物



陸上の層準との対比。湖畔のトレンチ調査からは、山中湖のコアと年代が概ね一致

- 山中湖における湖底堆積物の全有機炭素 (TOC) の ^{14}C 年代をリザーバー年代で補正し、新しい年代-深度モデルを構築した。
- 新しい年代モデルにより、湖底堆積物中のテフラの年代を決定し、陸上の層準と比較し調和的であることを確認した。

MFRI02 火山モニタリングと地下水流動把握のための多点連続重力観測

R3年度の取り組み

- ・ 研究所点での連続観測を継続
- ・ 4合目点での連続観測を開始
- ・ 他機関と合同での往復観測を実施【産総研・京大】
- ・ 5合目での鉛直勾配測定の実施【産総研】

